

第104期 中間株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



Evolution for Customers

— 全進で未来へ“シンカ” —

株主の皆様には日頃より当社へのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、先日第104期中間決算の発表をいたしましたので、株主の皆様には当社の状況、そして今後の見通し等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社ヒガシホールディングス

取締役 代表執行役社長 児島 一裕

Q1 2026年3月期中間期業績評価と今後の業績見通しについて教えてください。

幅広い事業領域で業容拡大を進めた結果、当中間期の業績は売上高267.9億円（前年同期比21.9%増）、経常利益19.2億円（同65.2%増）と想定を大きく上回り、ともに過去最高を更新しました。

上期の実績が予算を超過達成したことに加え、下期も堅調な業績推移を見込んでいることから、売上・利益ともに過去最高を見込んでいた通期の業績予想を、今回更に上方修正いたします。

【2026年3月期中間期の業績評価】

売上高は、前年度に開設した大型3PLセンター（川西LC※）の本格稼働、前年度下期より連結を開始した株式会社ネオコンピタンスの連結期間通年化及び大手EC向け輸送業務の拡大に加え、オフィスサービス事業での大型案件受注、NEXT GIGAスクール構想

に伴うICT機器の更新案件受注、ビルデリバリー事業での災害対策品販売のスポット案件受注等により想定を大きく上回る増収となりました。※LC：ロジスティクスセンターの略（以下同様）

また経常利益は、上記の業容拡大に加え、既存の大手EC向け大型3PLセンターの安定稼働化が牽引し、大幅増益となりました。

【今後の業績見通し】

下期においては、流山LC増床部分の稼働開始に向けた初期投資費用や、幅広い事業での更なる業容拡大に向けた人材・車両・設備への投資等の支出が予定されているものの、通期でも売上高、利益ともに当初予算を超過する見通しです。

これを受け、売上高は540億円（前年同期比12.2%増）、営業利益32.5億円（同18.8%増）、経常利益34億円（同15.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益21.7億円（同20.5%増）と、通期の業績予想を上方修正いたしました。

2026年3月期 当初予想			2026年3月期 今回修正予想				(参考) 2025年3月期 実績	
通期	全体に占める 割合 (%)		通期	全体に占める 割合 (%)	当初予想との差		通期	全体に占める 割合 (%)
					増減額	増減率		
売上高	51,000	--	54,000	--	+3,000	+5.9%	48,126	--
営業利益	2,956	5.8%	3,256	6.0%	+300	+10.1%	2,739	5.7%
経常利益	3,100	6.1%	3,400	6.3%	+300	+9.7%	2,935	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (円)	2,000	3.9%	2,176	4.0%	+176	+8.8%	1,805	3.8%
1株当たり 当期純利益 (円)	153.1	--	166.59	--	--	--	136.77	--

Q2 株主還元の方針について教えてください。

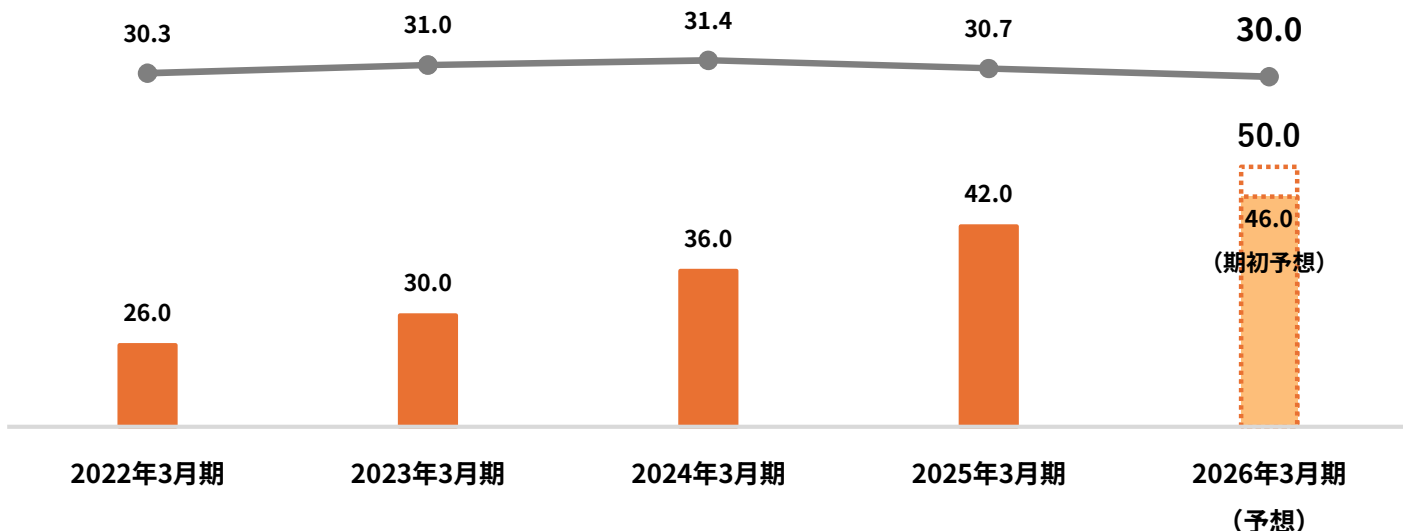
業績の上方修正に合わせ、期末配当を当初予想の46円から4円積み増し、50円（配当性向30.0%）とさせていただく予定です。

当社は、株主還元について長期的発展の礎となる財務体質の強化と、安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を連結配当性向30%以上を目安に還元する方針を掲げています。

2026年3月期については期末配当予想を1株46円としておりましたが、今般の業績予想の上方修正に合わせて当初予想から更に4円積み増し、前回配当から8円増となる1株50円とさせていただく予定です。

1株当たり配当金・配当性向の推移

■ 1株当たり配当金 (円) ■ 配当性向 (%)



Q3 大手EC向け3PL業務の展望について教えてください。

流山LC増床部分の安定稼働に向け、「人材採用、人材育成」、「庫内作業標準化」、「データ管理による業務効率化」等を通じた基盤強化に取り組むとともに、新たな拠点展開も視野に関西・関東の二拠点体制を強化してまいります。

当社グループの中核事業会社である株式会社ヒガシトゥエンティワンでは、2019年の関西（東大阪LC※再編により現在は川西LCに統合）での大手ECのセンター運営受託を始めとして、大手EC向け3PL業務が現在では関西4拠点（北大阪LC・鳴尾浜LC・神戸西LC・川西LC）、関東1拠点（流山LC）の合計延床面積約64,513坪の規模に成長しております。飲料商品の取り扱いに始まり、2020年には長尺物や家電製品といった大型商品の取扱業務、2022年からはセンター運営だけでなく、スポット便や定期便の受託も開始。さらに2023年には一部センターを24時間365日稼働へ移行し、取扱物量は大きく増加しました。

当社グループの柔軟な対応力を高く評価いただいた結果、来年度からは既存の流山LCにおいて増床稼働が決定いたしました。

（14,870.9坪から29,533.7坪）※施設概要はTOPICS 1をご覧ください

大手EC関連業務における売上高（輸送を含む）も、2025年3月期で当社グループ売上高の18.2%を占め、過去5年間で5倍以上の成長を遂げております。

関西で開始した当業務がこれまでの急拡大を遂げることができたのは、当社グループのオペレーション力と、データに基づく改善サイクルによる生産性の高いセンター運営の積み重ねと自負しております。

来期以降の大手EC向け3PL業務の重要課題である流山LC増床部分の安定稼働に向けては、「人材採用、人材育成」、「庫内作業標準

化」、「データ管理による業務効率化」を通じた基盤強化が不可欠です。

「人材採用、人材育成」では、物流業界全体で人材不足の課題に直面する中で、当社グループは昨年度、M&Aにより人材派遣事業を展開する(株)ネオコンピタンスをグループに迎え入れ、安定的に倉庫作業員を確保できる体制を整えました。流山LCにおいても、グループ資源を活用することで、大手EC企業様のニーズ拡大に応じてまいりたいと考えております。

また、「庫内作業標準化」では、庫内作業の生産性・安全性の両立を目的に、作業工程の標準化と現場クロスチェックを進めております。各センターの安全品質担当者が定期的に他センターを巡回し、指摘内容を早期に改善することで、作業品質の均一化を図っています。

加えて、「データ管理による業務効率化」では、生産性進捗管理アプリの導入を進め、作業データをリアルタイムで可視化し、作業遅延を検知・是正する仕組みを構築中です。管理者が即時に現場の状況を把握し、適切な人員配置や指示を行うことで、庫内オペレーションの更なる効率化と安定稼働を実現してまいります。今後は、上記取組を通じて関西・関東の二拠点体制を基盤に、新たな拠点展開も視野に入れながら、国内ECの需要拡大に合わせて柔軟に対応してまいります。



川西LC外観



庫内作業の様子

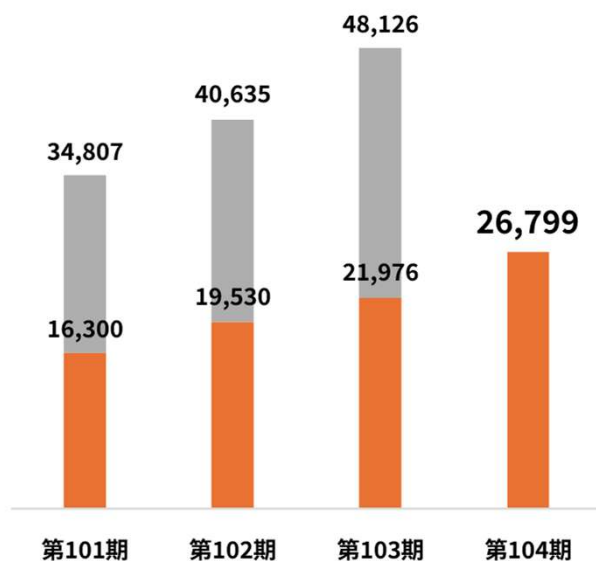


拠点一覧

決算ハイライト

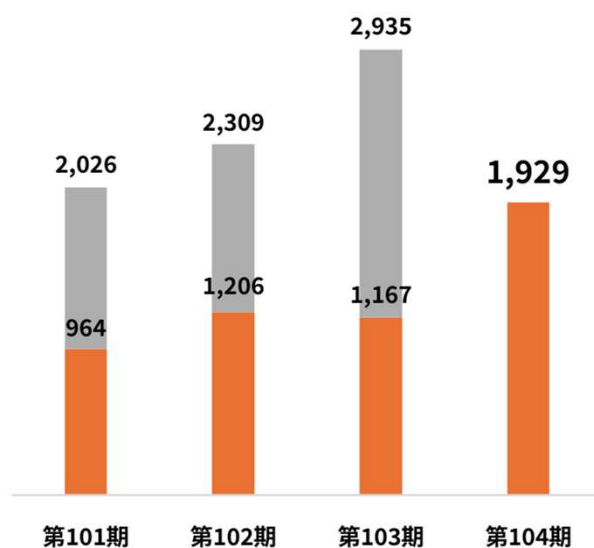
売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期



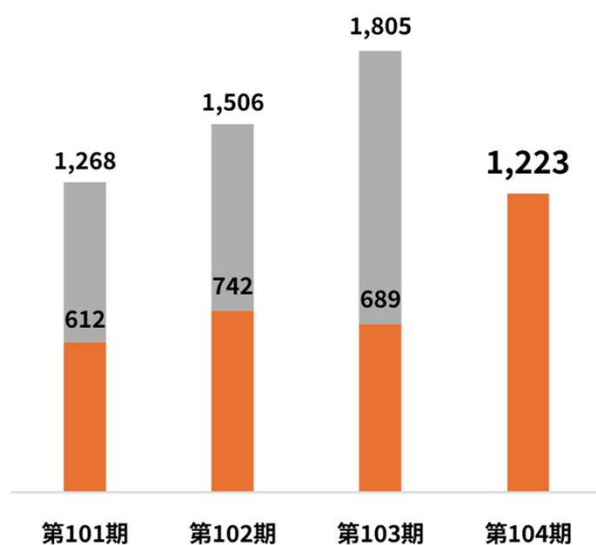
経常利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期



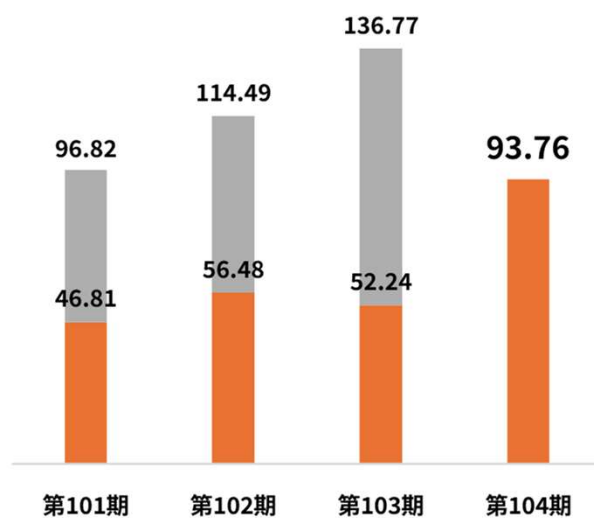
親会社株主に帰属する中間（当期）
純利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期



1株当たり中間（当期）純利益（円）

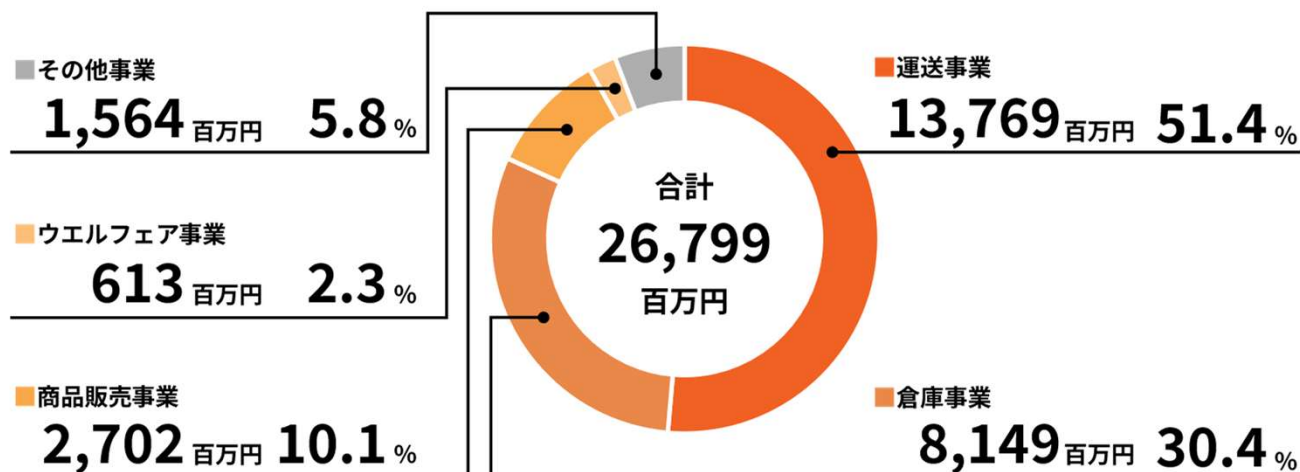
■ 中間 ■ 通期



事業の概況



セグメント情報

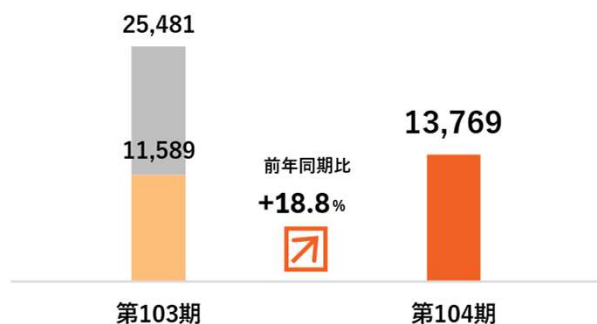


運送事業

当事業につきましては、売上高は137億69百万円（前年同期比18.8%増）となり、セグメント利益は18億33百万円（同35.6%増）となりました。これは主に、大手 E C 向け配送業務の拡大と、移転事業・ビルデリバリー事業の成長等により売上が増加したことによるものです。

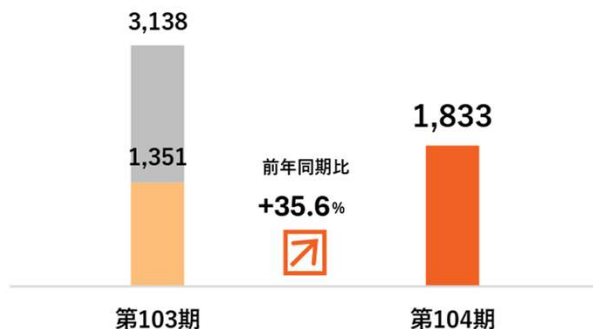
売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



セグメント利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期

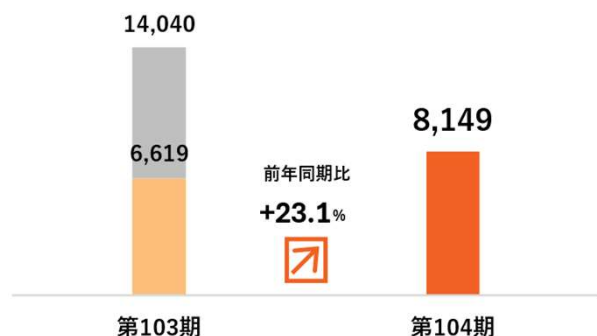


倉庫事業

当事業につきましては、売上高は81億49百万円（前年同期比23.1%増）となり、セグメント利益は8億10百万円（同62.7%増）となりました。これは主に、前年度に新規開設した大手 E C 向け大型倉庫の本格稼働等により売上が増加したことによるものです。

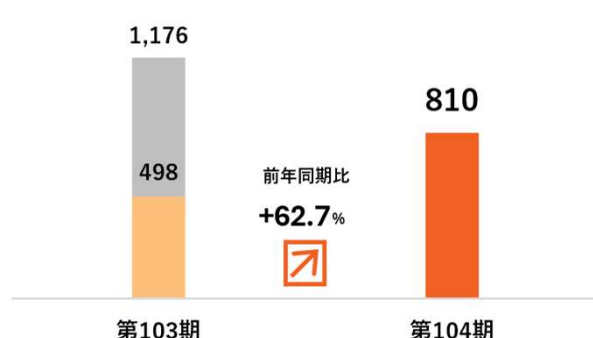
売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



セグメント利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期

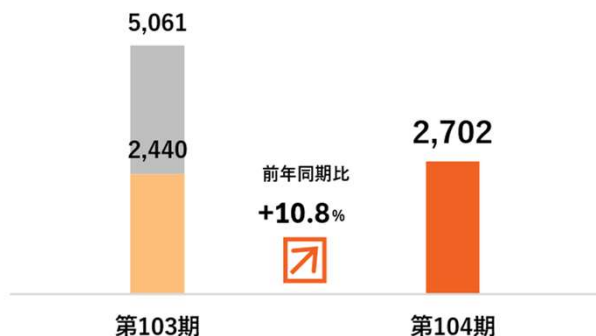


商品販売事業

当事業につきましては、売上高27億2百万円（前年同期比10.8%増）となり、セグメント利益は1億52百万円（同1.2%増）となりました。これは主に、大手インフラ会社向け資材販売業務が増加したこと等により売上が増加したことによるものです。

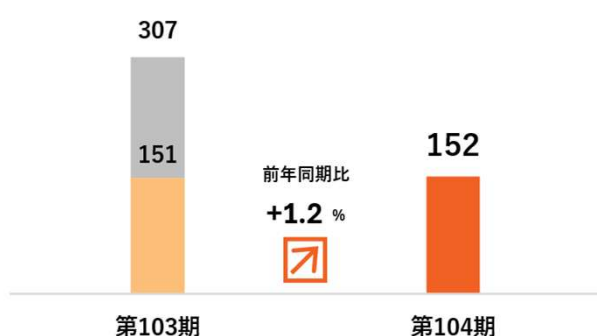
売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期



セグメント利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期

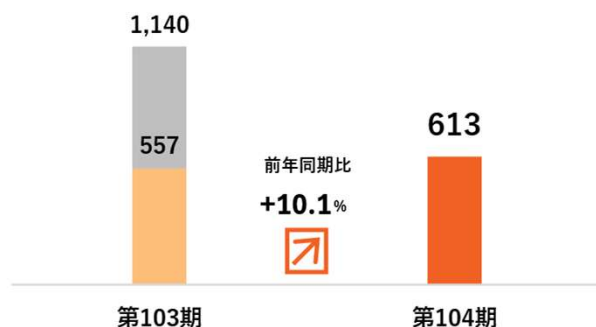


ウェルフェア事業

当事業につきましては、売上高6億13百万円（前年同期比10.1%増）となり、セグメント利益は1億1百万円（同11.7%増）となりました。これは主に、福祉用具の新規貸出しが増加したこと等により売上が増加したことによるものです。

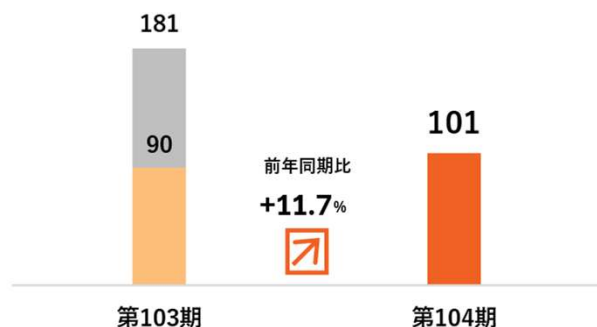
売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期



セグメント利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期

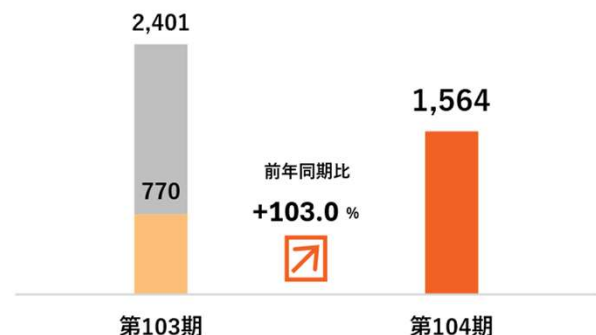


その他事業

当事業につきましては、売上高15億64百万円（前年同期比103.0%増）となり、セグメント利益は2億19百万円（同48.1%増）となりました。これは主に、2024年10月より連結を開始した株式会社ネオコンピタンスの通年化等により売上が増加したことによるものです。

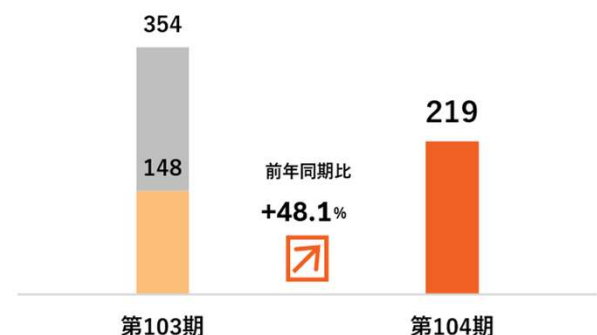
売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期

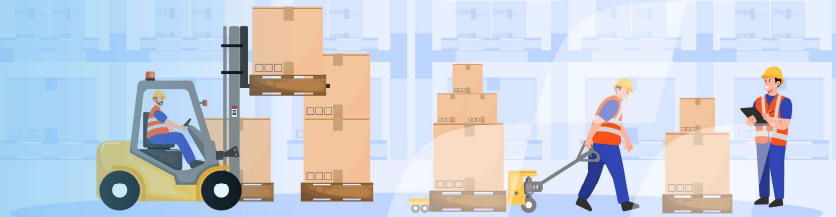


セグメント利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期



TOPICS



TOPICS 1 ▶ 流山ロジスティクスセンターを増床いたしました

当社グループの中核事業会社である(株)ヒガシトゥエンティワンでは、3PL事業の拡大に伴い、既存の大手EC向け大型3PLセンターである「流山ロジスティクスセンター」を増床いたしました。

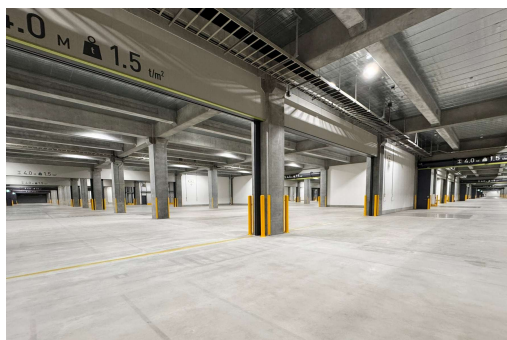
当センターは、2023年4月の開設以来、順調に稼働を続けており、今回の増床により、延床面積は現在の約2倍となり、当社グループ史上最大規模の3PLセンターとなります。増床部分については、2026年5月より順次稼働開始を予定しております。

当社グループではお客様に最適で高品質な物流サービスを提供できるよう、更なるサービスレベルの向上を目指して業容拡大や収益基盤強化を図ってまいります。

▶ 流山ロジスティクスセンターの概要



倉庫外観



倉庫内観

建物名称	DPL 流山IV
所在地	千葉県流山市森のロジスティクスパーク 1丁目383番地11 →つくばエクスプレス 「流山おおたかの森」駅から車で約20分 →東武アーバンパークライン 「運河」駅から約1.6km（徒歩約20分）
現在の延床面積	14,870.9 坪
増床後の延床面積	29,533.7 坪
稼働開始	2026年5月

TOPICS 2 ▶ 株式会社ピアレスがグループ会社となりました

2025年6月に株式会社ピアレス（東京都墨田区）をグループ会社化いたしました。

同社は、首都圏での ICT 機器の導入時におけるシステムの企画、キitting、データ消去、サーバー構築に加え、常駐・リモートによる運用支援や障害対応といった幅広い IT サービス事業を展開しております。

今回のグループ化により、当社グループが展開している IT サービス事業の業務対応力が強化され、ICT 機器導入サービスにおける設計、導入、運用・保守までの一貫したサービス提供が可能となります。また、一方でピアレス社は、当社グループの拠点・顧客基盤の活用を通じた取引拡大を見込んでおります。

当社は今後も更なる事業成長と規模拡大に向けて、シナジー効果を見込める企業とのM&Aを積極的に検討してまいります。



TOPICS 3 ▶ NEXT GIGAスクール構想に係る端末更新案件を受注いたしました

(株)ヒガシトウエンティワンのITサポート事業部では、文部科学省が推進する「NEXT GIGAスクール構想」にかかる端末更新案件を受注しております。

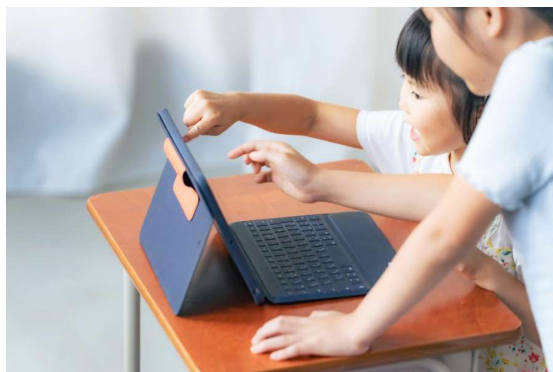
本案件は、2020年度の「GIGAスクール構想」により全国の小中学校で1人1台導入された端末の更新にあたるもので、当事業部が初回導入時に提供した作業品質とサポート体制、物流領域で培った柔軟なオペレーション提案力が高く評価され、今回の継続受注に至りました。

対応範囲としては、端末のキittingから輸送・設置、旧端末の回収までを一貫して実施しており、今年度の作業台数は大阪府下で約20万台、東海地区で約23万台となる見通しです。

過去に同様の大規模案件を手掛けた経験豊富なスタッフが構築した作業計画のもと、各学校との調整を丁寧に行い、作業ルートを最適化することで、作業時間の短縮と費用抑制を両立しつつ、高品質なサービス提供を実現しております。

さらに、東海地区においては、今年4月に開設した小牧LCへキittingセンターを拡張移転し、より多様なニーズに対応可能な体制を整えております。

今後も、当社グループがこれまで培ってきたIT関連事業と物流事業のノウハウを活かした付加価値の高いサービスを展開し、教育現場の円滑なデジタル学習環境の維持・発展に寄与してまいります。



TOPICS 4 ▶ IR活動の強化を目的にSNSアカウントを開設いたしました

株主・投資家の皆さまに向けて、決算情報・適時開示・IRイベントのお知らせを発信することを目的に、公式SNSアカウントを開設いたしました。noteでは決算説明資料の抜粋記事や、IRセミナーの書き起こし記事などを掲載し、X（旧Twitter）では、開示情報やnote掲載のお知らせなどを発信予定です。ぜひ、フォローやいいねをお願いいたします。



TOPICS 5 ▶ 2025年度上半期のCSRに関する取組をご紹介します

当社グループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを「ひまわりプロジェクト」と名付け、子どもを軸とした様々な支援活動を行っています。

こどもミュージアムプロジェクト関連の取組

一般社団法人こどもミュージアムプロジェクト協会が行っている「こどもミュージアムプロジェクト」は、子どもたちが描いた絵をトラックにラッピングすることにより、ドライバーや、それを見た周りの方に「やさしい気持ち」を広げることで交通事故の撲滅、危険運転ゼロにつなげようという活動です。当社グループではこの活動に共感し、取組に参画しています。

その一環として、グループ従業員やパートナー会社のお子様から「交通安全」に関する絵画を募集する「交通安全絵画コンテスト」を毎年行っており、入賞作品はラッピングトラックやお客様に配布するカレンダーに活用しています。本年度は118作品のご応募があり、下記作品が最優秀賞として選出されました。



幼児部門

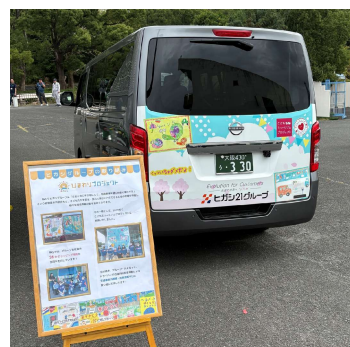


低学年部門



高学年部門

また、プロジェクト啓発イベント「こどもミュージアムフェスタ（2025.10.12開催）」へ協賛企業として参加し、ラッピングトラックの展示協力やブース出店を行いました。当社ブースへの来場者は約450名と、盛況のイベントとなりました。



当社グループは「安全と安心を大切にして、物流事業を通じ社会に奉仕する」という経営基本方針のもと、子どもたちを安全・安心に育むことのできる社会の実現を目指し、引き続き様々な社会貢献活動に取り組んでまいります。



ひまわりプロジェクト

会社概要・株式の状況



会社概要（2025年9月30日現在）

社名	株式会社ヒガシホールディングス HIGASHI HOLDINGS CO., LTD.
設立	1944年 12月
本社	大阪府大阪市中央区久宝寺町三丁目 1 番 9 号 〒540-0013 TEL 06(6945)5611 (代)
東京本社	東京都港区新橋一丁目 1 8 番 1 6 号 日本生命新橋ビル 9 階 〒105-0004 TEL 03(6457)9121
資本金	10億円
主なグループ事業内容	サードパーティ・ロジスティクス(3PL)事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業
従業員数	連結従業員数 1,680名（2025年10月現在）
グループ会社	株式会社ヒガシトゥエンティワン ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート 2 1 株式会社トランスポート 2 1 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社 山神運輸工業株式会社 株式会社旅人 株式会社ネオコンピタンス 株式会社ピアレス

役員（2025年9月30日現在）

取締役				執行役			
取締役	児島 一裕	社外取締役	樋口 真人	代表執行役社長	児島 一裕※	上席執行役	角野 公史※
取締役	山田 寛	社外取締役	大西 由紀	常務執行役	山田 寛※	上席執行役	外園 千尋
取締役	田口 宗勝	社外取締役	脇 陽子	常務執行役	田口 宗勝※	上席執行役	新井 慶景
取締役	角野 公史	社外取締役	勝田 達規	常務執行役	久下 真司	上席執行役	山川 圭洋
社外取締役	江上 雅彦	社外取締役	鶴川 勝利			上席執行役	日吉 晋介

※は取締役を兼務しております。

執行役員（2025年9月30日現在）

上席執行役員	井上 和大	執行役員	大久保律夫
執行役員	吉原 永詞	執行役員	岩井 和彦
執行役員	新村 誠司		

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	13,074,975株
（自己株式189,025株を除く。）	
株主数	5,153名

配当の状況

中間配当	行っておりません。
期末配当	1株50円（予定）

※現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（％）
関西電力株式会社	1,800	13.8
日本生命保険相互会社	1,040	8.0
星光ビル管理株式会社	938	7.2
株式会社毎日新聞社	700	5.4
ヒガシホールディングス従業員持株会	576	4.4
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社星和ビジネスリンク	382	2.9
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	214	1.6
金森滋美	201	1.5

（注）１．持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

２．持株比率は、自己株式（189,025株）を控除して計算し、小数点第２位以下を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	４月１日～翌年３月３１日
期末配当金受領株主確定日	３月３１日
中間配当金受領株主確定日	９月３０日
定時株主総会	毎年６月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目６番３号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL https://www.e-higashi.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。)

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社グループの最新情報をご提供しております。
「IR情報」では、決算説明資料等の各種IR資料の公表や、経営情報、各種お知らせなどを幅広く発信しております。
ぜひご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp/>

ヒガシホールディングス

検索

公式SNSはこちら



X(旧Twitter)
@Higashi_HD



note
@higashi_hd



Instagram
@higashi_group